

# 豊富な経験を活かして、学びを子どもたちへ 学習塾HOPE



「もし、あの時塾に通えていれば…」そんな思いを子どもたちにさせてはいけない。元教員と現役大学生が連携して教えている無償の学習塾が、子どもたちの未来を広げている。



マンツーマンで指導にあたる



有志から提供された一軒家で、日々指導が行われている

## ●活動内容

経済的な理由で塾に通えない子どもたちに対し、国語・数学・英語の個別指導を行っている。授業料などは一切無料。講師は全員無償のボランティアとして活動しており、退職した元教員と現役の大学生とが協力し合い、指導にあたっている。

塾に行き勉強をしたいという子どもたちの意欲に応え、非常にレベルの高い指導をしている。

元教員のシニア講師は現在7名。講師の人脈や、新聞、高崎市広報の記事で集まった。個別の面談によって、生徒と保護者の要望を可能な限り取り入れ、指導計画を作る。受験の相談にも乗っている。シニア講師は、元教員としての豊富な経験から、塾生の気持ちだけでなく、家庭の事情や保護者の気持ちも汲みとりやすい。また、学生講師は、塾生と年齢が近いので、兄・姉といった感覚で接することができる。経済的な事情を抱え、不安や悩みの多い塾生に対し、この二層構造が非常にうまく作用しているようだ。1対1の個別指導を基本としていることや、運営費用の兼ね合いから、塾生の受け入れは年間10名程度としている。

## ●事業を始めたきっかけ

同塾を立ち上げた遠藤善則さん(58)が、平成23年に、東北地方のボランティアによる無料塾を紹介した新聞記事を読んだことが、きっかけだ。

子どもにかかる教育費は、年々増加している。その一方で、生活保護を受けている家庭の子どもや、急なリストラによる親の失業などで、望みどおりの教育を受けられない子どもが増えている。教育格差が激しくなっている中、経済的事情により、望む教育を受けられない子どもたちを支援したいという熱意から、無料学習塾の開講を思い立った。

また、団塊の世代が定年を迎え、元気なシニアが増えている現在。元教員をボランティアメンバーに迎えることによって、豊富な知識や経験を活かすことができ、活躍の場が広がっている。シニア世代にとって、この活動が生きがいの一つになれば、介護予防にもつながっていく。

講師をしている現役大学生にとっては、さまざまな事情を持つ生徒を指導する機会を得ることにより、これから社会に出て行く上で、より広い人生経験を積むことができる。



元教員だけに、レベルの高い指導が受けられる



現役の大学生も教員として参加している

## ●工夫している点・特長

多くの人の協力のもとに成り立っている学習塾HOPE。学力の向上はもちろんだが、教育支援を受ける子どもたちや、支援をする側のボランティア大学生に、人とかかわることの大切さや何事にも感謝する心、ボランティア精神なども学んでほしいと考えている。

塾の講師は元教員と現役大学生であり、現役大学生にとっては、元教員の豊富な経験に基づく指導を間近で経験できる、良い機会になっている。

一方、同じボランティアとして世代を問わずに、全員が一致団結して協力し合える態勢が整っている。

完全なボランティアのため、安定した運営費の捻出が最大の課題である。備品などは、ボランティアメンバーからの持ち込みや、小学校や企業などからの寄付によるものだ。不動産関係者が、講師用の駐車場(2台分)を無償で貸してくれるなどの協力もある。また、高崎市社会福祉協議会の助言、推薦もあり、OA機器の購入や運営維持費などについて、助成金や基金によって賄っている。有志が提供してくれた一軒家を会場としており、家賃がかからないことが、運営していく上で非常に助かっている。



## 〈やりがい・楽しみ〉

「教員としての技量を発揮し、それが人助け・人づくりにつながることが何よりもうれしい」と、講師ボランティアメンバー。

「現役時代と違い、給料は出ません。それどころか、運営のための資金を集めたり、寄付を受けながら

手を取り合って活動しています。生徒のみならず、学生講師もHOPEでの指導活動を通じて立派に成長しています。これこそが私たちのやりがい・生きがいと言えるかもしれません」と、シニア講師たちは語る。

## 基礎データ

☎027-370-1162  
デイサービスセンター  
アミ内  
学習塾HOPE事務局  
事業開始時期/  
平成24年  
主な活動/  
無償の学習塾の運営  
人数・年齢/  
60代5名 50代3名  
20代学生8名

